

ことねぎだより

2018年6月号 NO.133 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668

水無月、春に新しく加わった農人たちは作業姿が様になってきました。

皆それぞれで作業スピードを上げる工夫をし、どんどん成長しているのがわかります。

年齢、出身、経歴も様々ですが同期生たちは仲が良く、ミーティングなどでも意見や質問がよく上がり私たちにとっても刺激を受けます。夏へ向けて徐々に暑さに体を慣らし、これからどんどん色黒の集団になりたくましくなっています。



今月のことねぎ

主に市内で育った春葱のお届け。今年二月に定植したもので、寒い気候の中から暖かい春を過ごして蓄えたつぷりの最後の春葱です。今年は、昨年の経緯も踏まえてこまめに面倒を見てきたことで葱坊主が少ない状態で収穫できました。今月も自慢の葱をご賞味ください。

● 今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でのように育ったものなのか、物語(事)を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。



グループ会社・コメ事業「こと美山株式会社」

美山での田植え作業が完了

早朝から苗の管理、水田に水を入れて土をならす代掻き、植えるまでの準備などを春先から行っており、5月から開始した田植え作業も無事に終わりました。

夏の間も圃場管理や整備を行い、美山という水・空気・資源豊かな環境で良い生育を促せるようにものづくりを行います！

今年は15haの面積で生産！



日増しに暑くなっていくものの、現在の気候は風が吹けばまだまだ涼しく感じる時季。作業は早朝から開始しています。

季節は春、作業は初夏・夏に向けて

農繁期と言われる今の時期、私たち農人としては2作目、3作目の生産量を見据える時。夏までの植付けが、秋～冬の生産量を左右するため、年間での安定供給という意味でとても大切な時期になります。夏に向けての体力作りも大事ですが、これから迎える梅雨の影響も心配事に。土が乾かず



畝上げが出来なかったり、晴れ間を意識して作業を効率良く行なったりと、何かと頭を使う時期でもあります。

自分たちが満足する畑作り



良い作物がとれる畑は何より土が大切ですが、やはり見た目も美しい畑作りを目指しています。忙しい中でも、少し気が緩むと曲ってしまう畝を1本ずつ真っすぐ・しっかりと立てることもひとつのこだわり。苗も整えて植え、雑草などもきれいに処理し丁寧に心を込めて育てています。